

無農薬農産物を活用した地域間交流の可能性



星槎学園高等部湘南校 農業ゼミ

1. 農業ゼミについて

私たちの学校がある二宮町は相模湾に面し、四季に応じて様々な表情を見せてくれます。そんな自然豊かな二宮町で私たちは「無農薬農産物」を栽培しています。栽培したものは校舎の無人販売や二宮町で毎月開催されている朝市や地域のお祭等で販売しています。

さらに畑があるみかん校舎からは富士山を見ることがあります。



□みかん校舎の様子

2. 目的

朝市や地域のお祭り等に参加していく中で、「若い人と交流できて良いな」、「高校生が出店していて驚いた」という声をいただきました。高校生で参加しているのは私たちのグループのみで、参加されている団体の多くが地域で商店を営んでいる方です。

そんな時、私たちの活動は農産物を販売するだけで良いのだろうか。もっと二宮町に貢献できることがあるのではないかと考えるようになりました。



□朝市での様子

3. 取り組み内容

- 1・無農薬農産物の生産
- 2・農産物の販売
- 3・地域住人との交流
- 4・広がる農業の輪



□取り組みの紹介



4. 取り組みの成果

- 1・無農薬農産物の生産
- ・みかん校舎で農産物を栽培
- ・耕耘機もお手のもの



- 3・地域住民との交流



- ・回数を重ねるごとに交流が増える
- ・私たちも慣れ、野菜のことも詳しく話せるようになった
- ・リピーターも増え、交流も盛んに！！

□活動の様子

- 2・農産物の販売

- ・地域の方に販売
- ・学校を知つてもらえるきっかけに！
- ・無農薬農業を知つてもらえた



□交流の場

- 4・広がる農業の輪

- ・地域の方から「野菜作りを始めた」という声をいただけた
- ・特別な農業ではないからこそ取り組みやすい！
- ・私たちの活動が地域で広がる！

5. 課題と今後の展望

引き続き朝市に参加し、地域との交流の輪を広げていきたいです。無農薬だからこそ、安定した収量を確保することが課題としてあげられます。イノシシやハクビシン等からの農産物を守る防護柵の強化を行います。

また、今年度から花の栽培にも挑戦中で地域の花屋さんを講師として招きフラワーアレンジメントを勉強しています。朝市での販売も検討しています。今後も地域での活動の場を増やしていきたいです。



□農政局との現地交流会の様子